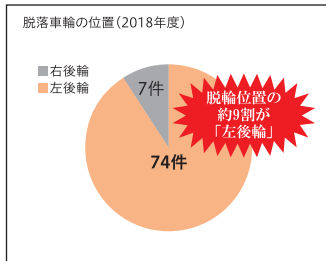
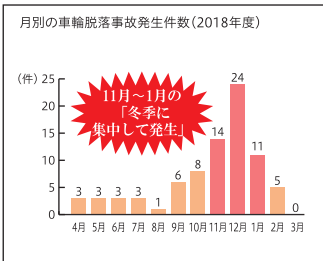
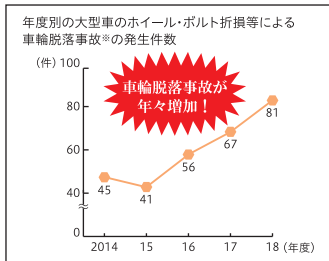


大型車の車輪脱落事故



近年、車輪脱落事故は増加傾向、特に冬季は要注意

タイヤ交換時の不適切な作業などにより、大型車の車輪脱落事故が近年増加傾向にあります。車輪の脱落は、歩行者やドライバーの命に関わる重大な事故につながる恐れがあります。車輪脱落事故ゼロに向けて、正しいタイヤ交換作業の徹底をお願いします。



※:車両総重量8トン以上の自動車または乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損またはホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故
 出典:国土交通省「車輪脱落事故発生状況(平成30年度)」

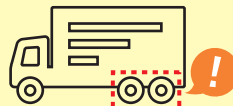
「左後輪」脱落事故は、冬タイヤ交換後1カ月以内に多く発生

原因

- ホイールナットの増し締め未実施
- 規定トルクでの締め付け未実施
- ボルトやナットの劣化
- 点検時の確認不備 など

「左後輪」の脱落割合が高い推定原因

- 左折時は、左後輪がほとんど回転しない状態で旋回するため、回転方向に対して垂直にタイヤがよじれるように力が働く。
- 道路は中心部が高く作られている場合が多いことから、車両が左(路肩側)に傾き、左輪により大きな荷重がかかる。など



冬タイヤ交換時期である今、適切な点検・整備の徹底を



規定トルクで確実な締め付けを



50～100km走行後に、
しっかり増し締めを



1日1回、日常点検の徹底を



ホイールに適合したボルト、
ナットの使用を

点検・整備について詳しくは、
一般社団法人 日本自動車工業会の
ホームページでご確認ください



脱輪事故ゼロに向けて日野自動車の取り組み

車輪が脱落するまでには予兆があります。車輪に異常がみられたら、お近くの日野自動車販売会社までご連絡ください。また日野自動車では、大型車の脱輪事故ゼロを目指し「脱輪事故防止無償キャンペーン(2021年3月31日まで)」を実施中。日常点検においてナットの緩みが目視で検出できる「連結式ナット回転指示インジケータ(ナット連結器)」の普及に取り組んでいます。